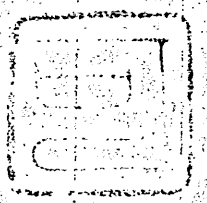


夕
形
行



特命全權大使從四位勳三等栗原 正
陸軍中將從三位勳二等功四級建川美次

右

勅
勅ヒ日ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十五年九月十三日

内閣總理大臣公爵近衛文麿

昭和十五年九月十日裁可
昭和十五年九月十日午後一時三分
親任式

昭和十五年九月九日

外務大臣 松岡洋右

内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

特命全權公使四位勳三等松原正
ヲ特命全權大使ニ御親任被為在候様
致度此段及内申候也

外務省

外務省

外務省

昭和十五年九月四日

外務大臣松岡洋右



内閣總理大臣公爵近衛文麿殿

陸軍中將從三位勲二等功四級建川美次ヲ特命全權大使ニ御親任被爲在候様致度此段及内申候也

外務省

昭和十五年八月二十八日

内閣總理大臣

外務大臣宛

拜管院者外務省調

査部長松宮順ヲ

特命全權大使河親任

大臣古河勲令「河親任」
外務省に在る松宮順を
外務省に在る河親任を

任 任 任

昭和十五年八月二十八日

義御内話ヲ遂テ完

候事今般平債折在

貴大臣於内務省

何分義御内

未取便交与及及内

御候

教具

任 任 任

八月二十日

松岡外務大臣

近衛内閣総理大臣

拜読陳名蘭國駐劄

公使石射猪太郎

國駐劄大使瑞西國駐

此 此 此

任 任 任

劉公儀案原正上青

其國大使之入河親任

義河内詔之遂之室

其後今般手續在

其後亦條可成空急

貴大臣新之内奏之室

其後今義河親任

お銀交以波子内親

并

御具

八月二十三日

松岡外務大臣

近衛内閣総理大臣殿

拜啓陸奥陸軍中將

遠川善次郎の子次郎下郎縣

和駐劄大使御親

任義卿内訖ヲ遂テ

道候交令ノ被手續

取付ハ存矣為可成

至急貴大郎ニ於テ

曰義ヲ遂テレ何分義

御河示お取交山後

承内親候 致具

八月二十日

松岡外務大臣

近衛内閣総理大臣 敬

從三位勳二等 小川 郷太郎

任鐵道大臣 從三位勳一等 秋田 清

任拓務大臣 從三位勳二等 金光 庸夫

任厚生大臣